

(陳受19第2号)

横河武蔵野FCと武蔵野市との連携・支援に関する陳情

受理年月日

平成19年2月19日

陳情者

中町2-10-12
横河武蔵野フットボールクラブ
GM 古矢武士

陳情の要旨

日ごろより横河武蔵野FCへの御支援ありがとうございます。おかげさまでクラブチームとしてチームの姿を変えてから、昨季はJFLで6位という好成績をおさめることができました。これもひとえに御支援いただいている大勢の皆様のおかげでございます。心から感謝申し上げます。

さて、現在横河武蔵野FCは武蔵野市に拠点を置き、JFLで上位をねらえるクラブチームとしての活動はもとより、青少年の健全育成やまちづくりを中心とした社会貢献をする地域密着のクラブチームを目指しています。この理念に基づき、チームとしてさらにリーグの上位を目指すため、そして地域へ貢献していくためには今まで以上に組織の強化、地域や行政との連携が不可欠と考えております。中でも行政とは、地元の陸上競技場等、施設の利用、地域へ根差すための支援などの点から今までよりも連携、協働体制の強化をお願いしていく必要があると考えております。

以上のことから、下記のように、横河武蔵野FCと武蔵野市と市民が一体となり、地域のために貢献ができることを主眼に置いた要望をいたします。何とぞ趣旨をお酌み取りいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 横河武蔵野FCが行う地域への貢献や、武蔵野市から横河武蔵野FCへの具体的支援などについて定期的に協議できる場を設けること。
2. スポーツを通じ、広く青少年の健全育成やまちづくりに貢献できるよう横河武蔵野FC、行政、市民が一体となった協働体制を目指すこと。
3. 市陸上競技場やその他関連施設利用については、より地元の施設を利用させていただきたいとの考えから、他団体の利用とのバランスや協議を踏まえた上で、可能な限りの枠を考慮すること。